祝　辞



前国土交通大臣　金子　恭之

本年発生した令和8年熊本地震により、お亡くなりになった方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、復旧・復興に向けて昼夜を問わずご尽力されている自治体、関係機関及び地域の皆様に深く敬意を表します。一日も早い被災地の復興と、被災された皆様の平穏な暮らしが取り戻されることを心より願っております。

「先進建設・防災・減災技術フェアin熊本2026」が8回目の開催を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

本フェアは、熊本地震からの創造的復興と、安心・安全な社会基盤の構築を目指し、産学官が一体となって最新の技術を発信する、九州地区最大級の建設・防災展示会として、地域に深く根ざした歩みを重ねてこられました。関係者の皆様のたゆまぬご尽力に、深く敬意を表します。

近年、自然災害は激甚化・頻発化しており、国民の生命と暮らしを守るため、防災・減災、国土強靱化の取組を一層加速させることが求められています。また、長期的な観点においては、若手人材の確保・育成や生産性向上が不可欠です。私も国土交通大臣在任中、i-Construction 2.0やDXの推進など、建設現場の変革と災害に強い国づくりに取り組んでまいりました。こうした取組がさらに発展し、我が国の防災力の向上につながることを期待しております。

本フェアが、先進技術の共有と広域連携の推進を通じて、次代を担う多くの若い皆様にとって学びの場となりますこと、そして多数の関係者の協力により地域防災力が向上しますことを心より期待しております。

令和８年（2026年）11月吉日